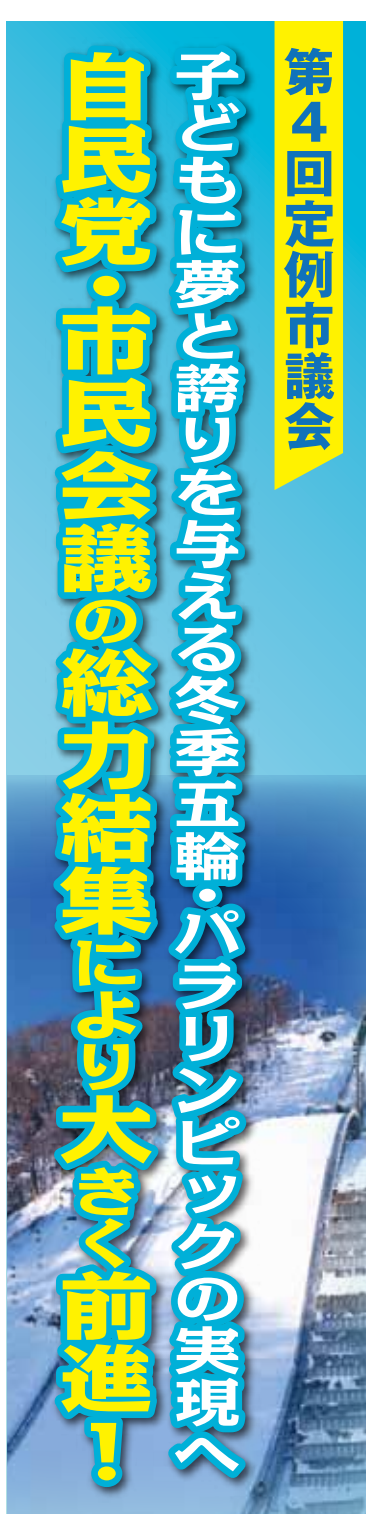


### 第4回定例市議会

# 子どもに夢と誇りを与える冬季五輪・パラリンピックの実現へ 自民党・市民会議の総力結集により大きく前進!



平成26年第4回定例市議会は11月27日に開会し、自民党・市民会議による代表質問では、札幌冬季五輪・パラリンピックの招致などについて市の姿勢をたどりました。

わが会派は、これまでも他会派に先

駆け、平成25年第3回定例会において、東京五輪開催決定や新幹線の札幌延伸早期開業への機運の高まりなどを背景に、「札幌市の新たな都市ビジョンの創出と都市ブランドの確立に向け、札幌での冬季五輪・パラリンピックの招致に総力を挙げて取り組むべきだ」と強く主張してきました。

その後、経済界の後押しや積極的な他会派への働きかけなどの努力が実り、



▲自民党を代表して質問(本会議場)

平成26年3定において「2026年冬季オリンピックの札幌招致に関する決議」が可決されました。このような動きもあり、当初消極的だった市長も、平成26年4定の冒頭、開催都市に立候補することを表明しました。

これを受け、自民党は12月3日の代表質問において、「招致するには、市民・企業・行政が一体となって取り組むことが不可欠。さらなる機運の醸成や財政上のメリットについての広報をどう行うのか」と迫りました。市は開催経費4045億円(市負担分715億円)に対し、経済波及効果が7700億円、雇用誘発数が6万1000人と試算した上で、「まちづくりや経済に及ぼす効果を、市の広報誌やホームページなど、あらゆる媒体や機会を活用し情報発信に努める」と答弁しました。

自民党は、「冬季五輪・パラリンピックは子どもに夢と誇りを与え、札幌を世界にPRする絶好の機会になる」として、招致に向けた機運の醸成に一定の成果を上げることができたと考えており、今後も全力で活動を続けます。

#### 【代表質問項目】

1. 市民憲章
2. 冬季五輪・パラリンピック開催

3. 南区のまちづくり

4. 空き家対策

5. まちづくりと公共施設の配置基本方針案

6. 建設業界の人手不足

7. 札幌国際芸術祭

8. 経済・雇用

9. 札幌市のエネルギー施策

10. 高齢者福祉

11. 予防接種と感染症対策

12. 学力向上に向けた取り組み

### 第3回定例会ダイジェスト 札幌国際芸術祭などをめぐり論戦

第3回定例会は9月22日から11月6日まで開かれ、平成26年度決算認定をはじめ、総額23億5700万円の本年度一般会計補正予算案や、北海道電力による電気料金値上げ幅の見直しに関する意見書などを可決しました。自民党の代表質問項目は次の通りです。

#### 【9月29日】

1. 航空防災拠点としての丘珠空港のあり方
2. 札幌国際芸術祭に対する評価
3. 太陽光発電導入拡大に対する財政負担
4. 集団資源回収の拡充
5. 都心のまちづくり
6. 耐震改修促進法への対応策

7. 不適切管理の空き家問題
8. 丘珠空港の整備拡充
9. MICE戦略
10. 冬季五輪・パラリンピック
11. 上田市政3期の経済政策の総括

2. 路面電車ループ化事業
3. 生活道路の排雪のあり方
4. 自転車の通行空間整備
5. 生活保護受給者増大への対策
6. 教育行政の充実
7. 市民自治の検証
8. 職員不祥事に対する認識 歩道整備のあり方

## 実効性のある「空き家対策」を自民党が推進

不適切な管理状態にある空き家の増加が、札幌でも大きな問題となつていきます。総務省によると、市内には2万9000戸の空き家があるとされ、倒壊の危険があるだけでなく、放火や不法投棄などの犯罪の温床、害虫の発生、景観の悪化などの問題点があり、適切な対処が求められています。

自民党・市民会議では実効性のある

対策の検討を積極的に関に働きかけてきました。11月の臨時国会で市町村による立ち入り調査などを可能にする特別措置法が成立したことを受け、12月3日の代表質問で「是正勧告や命令などの対応だけでは、問題の解消は難

しい。空き家や跡地の活用をどう考えているのか」と問いただし、市側から「民間の不動産関係団体やNPOなどと連携し、流通へ乗せたり、地域での活用を促す仕組みを検討したい」との前向きな答弁を引き出しました。

今後市民の皆さんや事業者と連携し、適正管理のための計画策定を進めます。



## 念願の北海道新幹線札幌延伸 政府とのパイプで1日も早い開業へ



2016年3月の北海道新幹線(新函館北斗・新青森間)の開業に向けて、兵庫県の工場で作られた車両「H5系」が10月13日、函館港に初陸揚げされました。11月1日には、北海道の玄関口・木古内駅において、レール締結式が行われました。

札幌延伸の工事も着々と進んでおりますが、20年にも及ぶ工期の長さがネックとなっています。道の試算では、5年間の前倒しによる経済効果は400億円増えるとされ、札幌市議会自民党・市民会議では、政府や関係各所への働きかけを強め、1日も早い開業に向けて一丸となって取り組んでいきます。